

英語で考えるなんて出来っこない？いいえ 正しくトレーニングすれば誰でもできます 私たちにはその方法と技術があります

私たちの英語プログラムは、英語だけで英語を教えます。日本語を使わないので英語で考えることが自然に身につく、聞き話すだけでなく、まとまった文章を英語で書いたり大量の英文を楽々と読むことが、無理なくできるようになります。理解が容易でしっかり記憶に残るものをまず学び、それを利用して次第に難易度の高いものを学ぶように、順序良く段階づけが行われている（Graded）ため失敗が少なく、暗記の負担も最小限に抑えられます。この教え方は Graded Direct Method（GDM）と呼ばれ、英語とかけ離れた言語を母語とする私たち日本人にとって最も学びやすい英語の学習法です。

GDMは学習者に優しい教え方、楽しさにあふれる学習法です。ダジャレを連発する楽しさではありません。ノイズにしか聞こえなかった英語の音声、ある時から意味を持ったことばとして頭に入ってくる新鮮な驚きと、学び覚えた英語で新たな知見に触れる興奮を味わう楽しさです。それが外国語学習の醍醐味であり、学習を持続する最も強力なモチベーション。進学指導にしっかりと目配りしながら、わかる楽しさと学ぶ喜びにあふれた強力無比の英語プログラムが用意されています。現状いささか迷走の観がある新制度英語入試も、要はどう転んでも慌てることのない英語力をつければ良いだけのこと。浮き足立つことなく、何が本当に大切かを見極めることこそ肝要です。

<体験報告 ②> 私の中に今も生きるGDM

慶應義塾大学環境情報学部卒 大屋 佳世子（大手情報通信会社勤務 TOEIC 990）

高校を卒業して約10年。GDMで身につけた感覚は今も私の中で生きていと実感しながら過ごす日々である。

大学は、第一志望 SFC に現役合格。部活や委員会を思い切り楽しみ、勉強を始めたのは高3秋であったが「私大最難関の英語超長文」も苦にはならなかった。大学では交換留学でアメリカへ。約1年間、現地の学生と同じ授業を受けた。ひとつの授業につき、毎回リーディングアサインメントが50ページ以上課される。全文和訳なんてしていたら、とてもじゃないがフォローできなかつただろう。

帰国後受けた TOEIC は990点、満点。気を良くした私は、中3の時1点足らずで準1級に落ちて以来二度と受けまいと誓っていた英検にも挑戦、1級合格。なんと、今度は、一次試験合格最低点ジャストであったが…。

今は新入社員。法人営業の傍ら、国際事業リーダー候補生として、社内の経営塾に合格。若手から役員まで混じるクラスで、経営課題や国際戦略を英語でプレゼンしている。

帰国子女ではないし、我ながら真面目に勉強したことがないという弱点もある。その私が“英語なら大屋さん”の立場を獲得できたのは、身につけた語学センスの賜物。「英単語を日本語訳で覚える」勉強をせず「知らない単語は文脈で予測する」ことを学んだからだ。一文いちぶん和訳はしない。英語のまま大意を把握、求められる解を出すために必要な文章を見極め、そこを読み解くことに注力する、「テストで点数を取るためだけの姑息な英語知識」は詰め込まず、「伝えるため、使うための英語力」に集中したのだ。大学合格を期に英語と縁の切れる人も多いが、寧ろ本当の学習は大学がスタートであり、英語はその「ツール」でしかないのだ。

GDM学習の日々を思い返すと、中1にして驚くべき論理性を以って英語の本質を理解していたものだ。長文の大意把握、未知の単語の意味予測、実際に声に出しての仮説検証。数学アレルギーの私が論理的な地頭力を評価されるのは、この語学習得プロセスから来たのではないかとすら思っている。でも特別な子供じゃないと受けられない授業では決してない。母国語習得のプロセスを中学生レベルに効率化しているだけだから、LINGUAに必要とされるのは、好奇心と頭を真っ白にできる素直さ、自分の意見を口にできる勇氣、それくらいだ。

大学合格をゴール地点に設定したくない人は、私のように、GDM との出会いが一生を変えるかも知れない。

 **リンガ・ランゲージ・スタジオ** TEL 03-3263-0135 (14:00-21:00)
http://lingua-ls.com
〒102-0082 千代田区一番町 13-7 一番町K Gビル 2F <地下鉄半蔵門2分/麴町5分>

発信する知の道具として英語を学ぶ LINGUA LANGUAGE STUDIO 小6/中高校生英語プログラム 2018年間受講案内 ver.1.0

全部英語の授業なんて絶対ムリ？大丈夫！ わからないなんて言わせません！！

英語で理解し英語で発想するオールイングリッシュ・プログラム 中高6年一貫 **SUPREME PROGRAM** <中1～高3>

本気で英語をモノにしたければ、これが第一選択です。徹底した口頭練習で最初から英語で考える力が鍛えられ、読み書く作業を同時に行うことで文法の筋が通った正確な英語が身につきます。聞き話すことはもとより、その速度で読んで理解し、英語的な発想で英文を書くことが当たり前になり、高校・大学を問わず長文化が進む英語入試に最良の準備というだけでなく、進学・卒業後には本当の意味での実用英語となります。

- 直読直解が自然にできるようになり、圧倒的な長文読解力が身につきます。新制度入試にも不安はありません。
- リスニングが30分に及ぶ東大2次、一気に数千語を読む早慶英語入試、「訳と文法」に頼る英語では歯が立ちません。

これで英語が話せる、ラクに英文が読める！ <高1以上> 高校生の話す基礎英語/直読直解トレーニング

中学の最初から英語で考えて学ぶことが理想ですが、高校に入ってから始めても遅すぎることはありません。聞く話す訓練を徹底し、日本人学習者が苦手とする基本語彙と構文、特に多義動詞と前置詞および関係節は十分な習熟をはかります。それにより英語で考えることが容易になり正確に英語を使いこなす力が鍛えられます。結果として訳読から解放され、英語の長文を読み文章を英語で書くことを苦痛と感じなくなります。難関英語入試の攻略が容易になるだけでなく英検や各種資格試験にも大きな力となり、2020年度新制度英語入試にもしっかりと準備ができます。

中学入学前から始める選択肢もあります

オール・イングリッシュ **SUPER STARTER** <小6>

英語の早期教育に意味があると私たちは思いません。あえて小6からの英語クラスを開講するのは、学習環境も生活条件も激変する中学1年時に学校外での学習の負担を最小限に止めた方が良い場合があるからです。また、それ以前に1年間英語の基礎を固めておくことは、中学進学後に予想される訳読依存等の悪習に対する有効な予防となります。そういった懸念が無用であれば中1スタートで何の問題もありません。どちらが良いかではなく、中学英語に向き合う可能な選択肢が1つ増えたとお考えください。

<2017大学合格実績> 難関大学英語入試に無類の強さです！

東大5（文一2，理一3）京大（法）一橋（法）早慶上智 ICU 18（医1，他17）他大学医歯薬（8）海外（1）その他（3）

意味概念も構造も異なる英語を無理に日本語に置き換えようとするから難しくなるのです。英語を英語として受け入れる。それで最も正確かつ速やかに英語が身につきます。圧倒的な合格実績がその証明です。

通年プログラム開講一覧

■ 中高6年一貫 SUPREME PROGRAM

◆ LEVEL1-2 <語彙語法構文基礎プログラム：中1以上>

英語の予備知識を必要としないところから始めて、2年間で高校入試レベルをクリアします。英語で理解する訓練を最初から徹底し、直読直解と多読の基礎を無理なく速やかに確立します。

L1 A1 (月 17:20~19:10) A2 (火 17:20~19:10) A3 (火 19:20~21:10) <週2 ; A, B より各1選択>
B1 (水 17:40~20:40) B2 (金 17:40~20:40) B3 (土 17:30~20:30)

L2 A1 (月 18:20~20:10) A2 (火 18:20~20:10) <週2 ; A, B より各1選択>
B1 (木 17:50~20:50) B2 (金 17:40~20:40)

使用教材： English Through Pictures Bk.1-3, サイドリーダー 10冊

◆ LEVEL3-4 <直読直解習熟プログラム：中3以上>

センター試験の長文がレベル3で難なく読め、リスニングは易しいと感じます。身につけた聞く話す力を土台に、本格的な読解指導とエッセイ・ライティングがこの段階で始まります。しかもオールイングリッシュ！強靱な読解力と文法的に正確で自然な文章が書ける英語運用力を鍛えるプログラムです。

L3 A1 (月 19:20~21:10) A2 (水 17:40~19:30) <週2 ; A, B より各1選択>
B1 (木 17:30~20:30) B2 (土 18:00~21:00)

L4 月 (18:00~21:00) <週1>

使用教材： English Through Pictures Bk.3, Insights for Today,
Longman Academic Writing Series 1, NorthStar Level 2-3, サイドリーダー 50冊

◆ LEVEL5-6 <大学進学準備プログラム：高2以上>

一般的な大学入試であれば、英語力としてはレベル5で十分です。レベル6修了時には英語に関する限り、入試にはどの大学であれ余力を持って対応できます。

L5 土 (18:00~21:20) **L6** 水 (17:00~21:00) <いずれも週1>

使用教材： NorthStar Level 4, World Views (早稲田大学出版部) The Expanding Universe of English II (東京大学出版会) サイドリーダー/洋書ペーパーバック 約30冊

■ 高校生の話す基礎英語/直読直解トレーニング

プログラム前半(話す基礎英語)は徹底した聞く話す訓練です。聞く話すに必然的に伴う高速レスポンスを利用して、それと意識することなく英語で考えられるようにすることが目的です。その素材となる語彙と構文には日本人学習者が苦手とする多義基本語彙(とりわけ基本動詞と前置詞)や後置修飾を多く含み、その点からも高校生/大学受験生の弱点補正に効果の高いプログラムです。後半(直読直解トレーニング)では、前半に引き続く口頭練習を行いつつ、時間の多くを読解指導にあてます。英語で考えるトレーニングがここで真価を発揮し、短時間に多量の英文を読む一方で、必要なだけ深く内容を掘り下げて読むこともできる柔軟な読解力が培われます。まさに大学入試で求められる英語力そして新制度入試に対応する基礎学力です。

<高1以上>

火 (18:00~21:00 ; 週1回)

使用教材： English Through Pictures Bk.1-2, Insights for Today 他

■ 小6オールイングリッシュ SUPER STARTER

SUPREME PROGRAM レベル1前半の内容を、それより幾らかゆったりとしたペースで学習するプログラム。小学生の体力と集中力を考慮して、授業は通常期のみで1回90分(途中休憩10分)ですが、扱う事項は中学生に遜色ありません。中学入学までに関係代名詞を含む構文と重要基本語彙をマスターし、十分な余力をもって中学英語に取り組むことができます。

<小6対象>

木 (17:00~18:30) 土 (15:00~16:30) <週2回>

使用教材： English Through Pictures Bk.1

<体験報告①> 英語入試を制する圧倒的な長文読解力

東京大学教養学部卒 宮下 玲 (公共放送勤務)

リングで僕が体験したのは、帰国子女が英語を身に付ける年月を、効率良く圧縮した過程だった。ものを見て、身体を動かして、声を出す。それを徹底的に日本語抜きでやるから、問答無用に英語脳がつくられる。受験に向かないただの英会話ではない。メソッドの裏には、僕たちが知らないうちに英語の骨組みを肌に取り付けさせる周到な計算があった。ただし、あくまで「知らないうちに」である。語彙は暗記するのではなく吸収され、文法は意識的に学習しなくとも後ろからついてきた。もちろん、本を読むときや入試問題を解くときにも、特にその辺りを意識することはない。英和辞典や文法書がなくとも、英語が英語のまま、おそらく英語圏の人がすると同じように理解でき、使えるからだ。また、英語を英語のまま学んで、日本語への変換の際に損なわれる小説などの表現のニュアンスにまで触れることができるようになり、英語が大好きになった。アガサ・クリスティーの『そして誰もいなくなった』の原書を毎夜一時まで読み、好奇心を噛み殺して泣く泣くしおりをはさんだ高三の十二月を思い出す。いわゆる受験英語が発端かつ目標におく、英語と日本語を対応させる力を、英語力と呼ぶ気はしなくなる。

いったいどれだけのアドバンテージを、リングの方法論からもらったか分からない。読み、書き、聞き、話す。これらの行為と脳とのあいだの日本語という交通障害を取っ払うだけで、なんてスムーズに簡単に正確に楽しく英語が使えることか。自由自在である。そして、東大の英語入試が求めているのも、まさにそういう力、つまり本物の、あるいは当たり前、英語力であったと今は確信している。また当然、僕は一度も単語帳を使ったことがない。必要がなかったし、リングで身に付けたスタイルではないからだ。

こうして芯から英語を理解したとき、全くの外の視点から、今まで自分が使っていた日本語を相対化することもできる。語学の楽しさを実感した。加えて、机にかじりついて一生懸命手を動かす以外の勉強の仕方があると知り、学習というものに対する視野が広がった。そして東大に入ってみて、昔の自分の狭い視野ではとてもやっていけなかっただろうとつくづく思う今日である。周囲の東大生の学習のあり方も、教官が想定している学習のあり方も、もっとずっと柔軟なものだ。さらに、大学では英語以外の授業でも当たり前のように英文の資料が使われる。外国人の教授がゲストとして講義をすることもある。高校の頃とはケタ違いの量の英語の中で、構文だの単語だのといって和訳に時間をとられていたら、などとは想像もしたくない。

リングのメソッドは、東大の英語入試を笑いが出るほど易しいと思わせてくれただけでなく、その後の大学生活にも通じる本物の英語力を与えてくれた。そして何より、楽しくて苦にならなかった。これをおいて他に何を、理想的な英語学習と呼べるだろうか。

<受講費用一覧>

	春期 (5日)	1期 (前5週/後5週)	夏期 (10日)	2期 (前5週/後6週)	冬期 (4日)	0期/3期 (7週)	年間一括預/分納計
レベル1 (22,000*)	42,500/42,500	48,000	42,500/51,000	19,500	59,000	294,000/305,000	
レベル2 24,000	42,500/42,500	48,000	42,500/51,000	19,500	59,500	318,000/329,500	
レベル3 24,000	43,500/43,500	48,000	43,500/52,000	19,500	59,500	322,000/333,500	
レベル4 26,000	28,500/28,500	52,000	28,500/34,000	21,000	==	208,000/218,500	
レベル5 26,000	31,500/31,500	52,000	31,500/38,000	21,000	41,000	259,000/272,500	
レベル6 26,000	41,000/41,000	52,000	41,000/48,500	==	49,000	286,000/298,500	
基礎英語 28,000	28,500/28,500	52,000	28,500/34,000	==		190,000/198,500	
		1期 (10週)	2期 (前6週/後6週)		3期 (7週)	年間一括預/分納計	
SUPER STARTER	46,000		28,000/28,000		32,000	128,000/134,000	

(1) 通常期受講の際に入会金¥20,000 を別途申し受けます(初回のみ)。表記の受講費用は教材費と消費税を含みます。

(2) *レベル1 春期講習はスタートダッシュ・プログラムとなり年間の総費用に含まれません。

(3) レベル5/6は1月(0期)スタートとなります。なお0期の授業はL5が180分(3h) L6は200分(3h20m)です。

(5) 各期ごとに納入された受講費用は理由を問わず返却致しかねます。金額が5万円を超えかつ受講期間が2か月以上に及び年間一括等の長期預かり金は、受付開始後の当該期受講費用と手数料を含む事務諸費用を差し引いて解約を承ります。